



葛木御歳神社（御所市）



山・金剛山の東、御歳山の
葛木御歳神社は葛城

全国の御歳神の総本社

麓に鎮座します。ご祭神は五穀豊穡を授ける御歳神・大年神・高照姫命で全国の御歳神、大年神の総本社です。御歳の「とし」は、稲などの穀物の実りを意味します。年に一度の収穫は命をつなぐサイクルで、新しい

年に、新しい生命力を授けます。依り代である鏡ことなのです。ける存在が御歳神です。餅には「御歳神の魂」が、かつて神社の本殿に古来、朝廷で行われた宿り、その餅を食べることは、「高照丸」という宝豊作を祈る祈年祭では、とでひとつ年を取り、1年間無病息災でいられる御歳神の名が一番に「御歳皇神」として読みあげられ、県内屈指の古社として尊ばれてきました。家族や親戚で鏡餅を分け合う行為は「御歳魂」お毎年正月になると、各年玉の起源です。お年玉とは本来、御歳神から家に降りてくるとされる歳神（年神）は御歳神を指分けてもらう「霊力」の

（住所）御所市東持田269
（祭神）御歳神、大年神、高照姫命
（交通）JR・近鉄御所駅から奈良交通バスで「小殿バス停」
（電話）0745・66・1708
下車徒歩約10分
（拝観）境内自由
（駐車場）無料

2027（令和9）年の完成を目指しています。
（奈良まほろばソムリエの会員 梅田加都）